

令和5年度 入学試験問題

数 学

10

( 前期日程・私費外国人留学生選抜 )

---

「解答はじめ」の合図があるまでは問題冊子を開いてはいけません。

#### 注 意 事 項

1. 問題冊子は1ページから5ページまでの綴りでできています。「解答はじめ」の合図の後、ページの落丁、乱丁あるいは印刷の不鮮明なものがあれば、手をあげて試験監督者に申し出てください。
2. 問題は4問あり、それぞれに解答用紙が1枚(表裏計2ページ)ずつ、合計4枚(8ページ)あります。4枚の解答用紙のすべての表に受験番号を必ず記入してください。解答用紙の裏には受験番号を記入する必要はありません。
3. 解答は該当する解答用紙に記入してください。解答用紙の表と裏では上下が逆になっています。記入の際には注意してください。
4. 問題冊子の空白のページや余白は、下書きに使用してください。
5. 問題冊子は、試験終了後、持ち帰ってください。

1

$a \neq 0$  を実数とし、関数  $f(x)$  を  $f(x) = -x + 2a\sqrt{x-3}$  とする。曲線  $C: y = f(x)$  の点  $(7, f(7))$  における接線  $l$  が、点  $A(4, 0)$  と直線  $y = x - 2$  上のある点  $P$  とを結ぶ線分  $AP$  の垂直二等分線となるとき、次に答えよ。

(i) 接線  $l$  の方程式を  $a$  を用いて表せ。

(ii)  $a$  をすべて求めよ。

(iii) 原点を通り接線  $l$  に平行な直線を  $m$  とする。曲線  $C$  と直線  $m$  で囲まれた図形の面積  $S$  を求めよ。

関数  $f_n(x)$  ( $n = 1, 2, 3, 4, 5, 6$ ) を以下で定める。

$$\begin{aligned} f_1(x) &= x, & f_2(x) &= \frac{1}{(x-2)(x+1)}, & f_3(x) &= \cos(\pi x), \\ f_4(x) &= xe^x, & f_5(x) &= \frac{1}{\sqrt{4-x^2}}, & f_6(x) &= \sin(\pi x) \end{aligned}$$

次に答えよ。

(i)  $n = 1, 2, 3, 4, 5, 6$  について、 $f'_n(0)$  および  $\int_0^1 f_n(x) dx$  を求めよ。

以下では、(i) で得られた値が1つずつ書かれた12枚のカードから1枚を抜き出し、値を調べてからもとに戻すことを3回繰り返す。1回目、2回目、3回目に調べた値をそれぞれ  $a, b, c$  とする。

(ii)  $ab = 0$  となる確率を求めよ。

(iii)  $ab = c$  となる確率を求めよ。

四面体  $OABC$  は  $OA = OC = 1$ ,  $OB = \sqrt{2}$ ,  $\angle AOB = \angle BOC = \frac{\pi}{4}$  をみたしている。 $\overrightarrow{OA} = \vec{a}$ ,  $\overrightarrow{OB} = \vec{b}$ ,  $\overrightarrow{OC} = \vec{c}$ ,  $\angle COA = \theta$  ( $0 < \theta < \frac{\pi}{2}$ ) として, 次に答えよ。

- (i) 線分  $AB$  の長さおよび内積  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  を求めよ。
- (ii) 内積  $\overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC}$  および三角形  $ABC$  の面積  $S$  を  $\theta$  を用いて表せ。
- (iii) 3点  $A, B, C$  の定める平面を  $\alpha$  とし,  $\alpha$  上の点  $H$  を直線  $OH$  と  $\alpha$  が垂直になるように選ぶ。 $\overrightarrow{OH}$  を  $\overrightarrow{OB}$ ,  $\overrightarrow{BA}$ ,  $\overrightarrow{BC}$  および  $\theta$  を用いて表せ。
- (iv) (iii) の点  $H$  に対して, 線分  $OH$  の長さを  $\theta$  を用いて表せ。
- (v) 四面体  $OABC$  の体積を  $V$  とする。 $V$  を  $\theta$  を用いて表せ。また,  $\theta$  が変化するとき,  $V$  の最大値とそのときの  $\theta$  の値を求めよ。

4

複素数  $\alpha$  について、実部を  $\operatorname{Re}(\alpha)$ 、虚部を  $\operatorname{Im}(\alpha)$  とおく。次に答えよ。

(i) 複素数  $z$  について、方程式  $\frac{z-1}{z} = z$  を解け。

(ii) 整数  $a, b, c, d$  は  $ad - bc = 1$  をみたしている。等式

$$\operatorname{Im}\left(\frac{az+b}{cz+d}\right) = \frac{\operatorname{Im}(z)}{|cz+d|^2} \quad (cz+d \neq 0)$$

が成り立つことを示せ。

以下では、複素数  $z$  について、

$$\text{条件 P: } |z| = 1, \quad -\frac{1}{2} < \operatorname{Re}(z) \leq \frac{1}{2}$$

を考える。

(iii) ある整数  $m, n$  について、 $|mz+n|=1$  と条件 P をみたす複素数  $z$  が存在する。このとき、 $m, n$  の組をすべて求めよ。

(iv)  $ad - bc = 1, b < 0$  をみたすある整数  $a, b, c, d$  について、 $\frac{az+b}{cz+d} = z$  と条件 P をみたす複素数  $z$  が存在する。このとき、 $a, b, c, d$  の組をすべて求めよ。